



ライトアップされた山車と踊りの共演を観覧する皆さん



大勢の観客が見守るパレード

くずまき秋まつり

葛巻八幡宮例大祭



葛巻神楽

迫力の踊りやきらびやかな衣装でステージに華を添えていました。

下町組（幹事組）の星野信幸組長は「マスクなしで掛け声が出せる本当のお祭りが戻ってきて嬉しい。秋まつりは子どもたちにとって礼儀などを学ぶ場にもなるので、これからもたくさん参加して欲しい。また、若い人に伝統を受け継いでもらい、秋まつりを期に元気な町を目指したい」と話し、町の活力ある将来を願っていました。

9月23日と24日の2日間、くずまき秋まつりが開催されました。

昨年はさまざまな感染症対策を講じながら行われましたが、今年は制限がなくなり、コロナ禍以前の盛り上がりを取り戻しました。

4つの山車組の豪華絢爛な風流山車は、「ヤーレーヤーレ」の掛け声とともに秋晴れのまちなかを練り歩き、夜にはJRバス葛巻駅構内でライトアップされ、幻想的な姿で観客を魅了しました。また、葛巻神楽、七ツ物、さんさ踊りの各芸能団体が、邪気を払い福を呼ぶとされる縁起の良い芸能の数々を披露しました。

23日の夜には、JRバス葛巻駅構内の特設ステージで4年ぶりに各山車組による踊りの共演が行われ、子どもたちは元気いっぱい踊りを繰り上げ、大人たちは若さ溢れる



七ツ物



お神輿の渡御



パレードの出発の様子



茶屋場組



新町組



さんさ踊り



まちなか賑わい市で郷土芸能を楽しむ皆さん



幹事組の下町組の音頭上げ



浦子肉組



下町組